

# 化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス  
住 所 東京都中央区築地 6-19-20  
担当部署 品質保証部  
電話番号 03 - 3248 - 2208  
FAX 番号 03 - 3248 - 2243  
緊急連絡先 同上

作 成 2006年9月8日  
第2改訂 2012年1月23日

MSDS No. 415101, 415231

製品名	略		
製品コード	製品名	成分	単一製品、混合物の区別
415101, 435101	トリプシン溶液	トリプシン	蛋白質と塩類の混合物
415231, 435231	プロテアーゼ溶液	プロテアーゼ	

適用法令：なし

成分の一覧及びその他の適用法令

火災時の措置

消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。
消火剤	粉末, 炭酸ガス, 乾燥砂

漏洩時の措置

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋, 防塵マスク, 保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。
- ・ 飛散したものは、乾燥砂, 土, 不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。  
この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒, 落下, 損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。  
含有量, 物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

MSDS No. 415101, 415231

物質の特性

化学名	蛋白質と塩類の混合物		
成分及び含有量	-		
化学式／分子量	-	化審法公示番号	-
CAS No.	-		
国連分類	-	国連番号	-

危険・有害性の分類

分類の名称	-----
危険性	-----
有害性	-----
環境影響	-----

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高温物、スパークを避け、保管する。</li> <li>・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。</li> <li>・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。</li> <li>・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。</li> <li>・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。</li> </ul>

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。</li> <li>・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。</li> </ul>
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	液体。	蒸気比重	-----
沸点	-----	蒸気圧	-----
融点	-----	比重	-----

溶解性 水に可溶。

---

危険性情報

安定性, 反応性 直射日光に不安定。

有害性情報

急性毒性 : -----

経皮投与 : -----

慢性毒性

-----

変異原性

-----

がん原性

-----

刺激性

-----

環境影響情報

-----

---

廃棄上の注意

大量の水と一緒に流す。または、廃棄物業者へ委託して処理する。

---